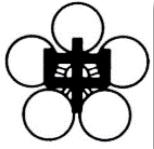


<校訓>白梅の においゆたかに 明るく強く 毎日必ず 一歩前進



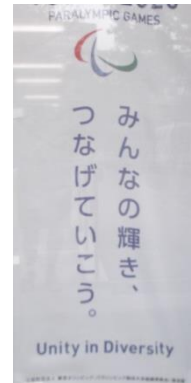
輝く未来へ

教育目標「自ら学び 創造する生徒」「豊かな心で 思いやりのある生徒」「ねばり強く 健康な生徒」

板橋区立加賀中学校
学校だより
平成 30 年度 第 15 号
平成 30 年 11 月 28 日
校長 水谷 智子

「Unity in Diversity」 ～11月19日朝礼講話から～

この幟旗に見覚えはありますか？ この旗には、オリンピック・パラリンピックのマークの下に「みんなの輝き、つなげていこう」とあります。そして、その一番下にはこのような英語が書かれています。「Unity in Diversity」 Diversity は「多様性」という意味ですが、この言葉は東京 2020 のキーワードにもなっています。オリンピックでは、体格も肌の色も、言葉も宗教も文化も違う世界中のいろいろな人が集まって競います。また、パラリンピックでは、いろいろなハンディキャップを持ったアスリートが集まって競います。つまり、東京 2020 には、世界中から多種多様な人たちがたくさん集まってくるのです。



違ったものを受け入れるということは、難しいことです。人の体には、「免疫反応」といって自分と違うものは受け入れない仕組みがあります。自分を守るための防御反応です。知らないものを安易に受け入れては自分が壊れるからです。人に対しても同様のことがあると思います。私は、初めて黒人の方にコーヒーをサービスされた時、コーヒーカップを出してくれたその手の色に「はっ」としたことを覚えています。差別意識はありませんでしたが、それまで経験したことのないものに出会った瞬間、身構える自分がいたことは確かです。

しかし、一方で、人は、「違うものを掛け合わせるとより良いものが生まれる」ということも知っています。ハイブリッドという考え方ですね。作物を育てる時に二つの品種を掛け合わせて、よりおいしいもの、より強いものを作ったりしています。人との関係についても、自分とは違う考えに出会い、「そんな考え方があったのか」と知り、自分の考えと組み合わせるとより良い考えを出すことができたり、もっと良い問題解決方法があることに気づいたりすることができます。つまり、多様性を認め、受け入れることは、豊かになれる可能性を秘めているということです。

さて、皆さんの日常生活においてはどうでしょうか？ 2 学期には 2 大行事がありました。クラスの人たちと協力して、行事を成功させようと一緒に練習を重ねていく中で、意見が対立したこと、話し合っで解決したことがたくさんあったと思います。自分とは違う意見を持った人がいることに「何で？」と思ったり、「どうしてできないの？」と思ったりしたこともたくさんあったでしょう。

公立学校にはいろいろな人がいて、人それぞれ違っている。その違いは外から見えるものもあれば、見えないものもある。でも、違うからこそ、自分一人では考えつかなかったことを考えられるし、考えの幅が広がることもあるのです。「あんなふうになりたい」と思って努力することもあるでしょう。みんな違ってみんないい、さらに進んで、違いを受け入れ、自分になかったものを取り入れることができれば、人はもっと豊かになれます。つまり、多様性を理解してそれを受け入れる寛容さが、豊かな人間性につながるのだと思います。

11 月はふれあい月間です。様々な人とのふれあいを通して、互いの良いところを見つけ合い、その違いを受け入れ、それぞれの良さを伸ばしていきましょう。

◎パラアスリート講演会&車椅子バスケット体験

11月26日(月)に車椅子ソフトボール選手の石井康二さんをお招きして、講演会「自分らしく生きる」(全学年)と車椅子バスケットボール体験(2年生)を行いました。石井さんは高校生の時に脊髄を損傷して下半身不随になりましたが、車椅子バスケットボール、パラセーリング、車椅子ソフトボールにおいて、日本のトップアスリートとして活躍されている方です。石井さんは、障がいと向き合い創意工夫しながらチャレンジしている様子をお話ししてくださいました。また、日常生活用の車椅子と競技用車椅子の違いを見つけることを通して、



バリアフリー社会の在り方についても考えさせてくださいました。石井さんが質問を投げかけ生徒が答えるという「全員参加」の講演会でしたが、生徒の柔軟な発想で石井さんの想定外の答えも出てきたりして、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく学ぶ時間になりました。

2校時には、2年生を対象に車椅子バスケットボールの体験も行いました。生徒たちは、下半身が使えない状態でプレーすることの難しさを実感したようです。障がい者スポーツにもいろいろなものがありますが、それぞれの競技において様々な工夫と努力を重ねながら、皆さんがスポーツを楽しもうとしていることを、感じる体験になったと思います。現在、東京オリンピック・パラリンピックに向けた準備も着々と進んでいますが、この講演会・体験会を通して、さらに東京2020への期待を膨らませることができました。

◎連合学芸会・板橋ジュニア音楽祭

11月10日(土)、板橋文化会館において、

連合学芸会、板橋ジュニア音楽祭が催されました。



連合学芸会には本校の演劇部が出演しました。白梅祭でも全校に披露してくれた「走れメロス」を演じましたが、演技にはさらに磨きがかかり、高いレベルに仕上がっていました。

板橋ジュニア音楽祭には、本校の吹奏楽部が出演しました。キレのあるノリノリの演奏に会場の人たちも大いに楽しんでくれました。

どちらの部活動も加賀中の文化レベルの高さを示してくれたと思います。文化部の3年生は、今回の公演・演奏でひとまず活動休止となります。気持ちを切り替え、進路に向けて集中していきましょう。



◎活躍の記録

■男子バレー部

第47回ロック中学校新人バレーボール大会 準優勝
都大会ベスト8

■柔道

第6回東京都中学校新人体重別柔道選手権大会
90kg級 優勝 S. R.

■卓球部

第55回板橋区中学校新人卓球大会

女子団体 第3位

女子シングルス 第3位 S. N.

女子ダブルス 第3位 A. H.

N. Y.

■演劇部

平成30年度連合学芸会 優秀賞

■野球

第42回城北四地区交流野球大会 優勝 加賀中クラブ

■水泳

第41回全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会

女子4×50mフリーリレー 第1位 K. M.

来週からは三者面談です。ご多用中とは存じますが、お子様の成長や課題について共有する機会になればと思います。ご協力よろしくお願ひいたします。



Kaga junior high school
60th Anniversary